

第五次香芝市総合計画及び第二期総合戦略の進捗管理 (個別事業の方向性の検討)について

1 進捗管理の方法について

政策・施策及び事業の実施内容について、指標等を用いて客観的に評価することにより、「事業の現状を認識し、課題の発見につなげ、改善案を考える」という P D C A サイクルの下、毎年度行政評価を実施します。

2 行政評価のながれについて

以下のとおり、事前記入・事中評価・事後評価の3回実施

6月下旬<事前記入>

「事業の実施計画」および「目標値」の設定

目的：事業の位置づけ・目的の確認、実施内容・指標設定の検討

8月初旬 都市経営市民会議で報告

10月下旬<事中評価>

3視点評価（必要性・有効性・効率性）による今後の方向性（成果・コスト）の決定

目的：事業の進捗確認、課題整理・改善点の分析、次年度の事業計画と必要予算の検討

1月<事後評価>

事業の実績評価、成果・課題点の分析

目的：事業の実績確認、最終的な次年度の方向性の決定

2月初旬 都市経営市民会議で審議

令和7年12月 行政評価の公表（市ホームページ）



3 事後評価結果

<担当課評価>

評価項目		事業数
A	順調に進捗しており、継続して事業を推進する	78事業
B	進捗が遅れており、改善しながら継続して事業を推進する	33事業
C	進捗状況が悪く、事業の見直しを要する	0事業

担当課の主観的な評価としては、全体の約7割がA評価で、3割がB評価と、ほぼ全ての事業において、一部改善しながらも継続して推進していくという結果となった。

<指標の実績値（年度末）>

● 「第五次香芝市総合計画」における各指標の達成割合【R6目標値：80%】

	総合計画における指標数	130
[ア]	評価対象指標数 (R6未設定・次年度以降に計測するもの等を除く)	127
[イ]	目標達成指標数 (当該年度比100%以上)	46
[イ] ÷ [ア]	達成割合	36.2%

<参考>

[ウ]	目標達成指標数 (当該年度比90%以上)	65
[ウ] ÷ [ア]	達成割合	51.2%

● 「第二期香芝市総合戦略」における各指標の達成割合【R 6 目標値：80%】

	総合計画における指標数	113
[ア]	評価対象指標数 (R 6 未設定・次年度以降に計測するもの等を除く)	111
[イ]	目標達成指標数 (当該年度比 100%以上)	42
[イ] ÷ [ア]	達成割合	37.8%

<参考>

[ウ]	目標達成指標数 (当該年度比 90%以上)	60
[ウ] ÷ [ア]	達成割合	54.1%

※[イ]目標達成指標数：令和6年度の目標値に対する実績値の割合が100%以上である指標の数

上記の指標は、施策30「行財政運営の最適化」の主な取組①「総合計画・総合戦略の進行管理」において設定しているものであり、令和6年度の目標値80%に対して、いずれも大きく下回る結果となった。

<参考>で示すとおり、目標達成には至っていないが、おおむね順調であったと考えられる指標（当該年度比90%以上）を含めると、達成割合は総合計画で51.2%、総合戦略で54.1%となっている。

＜今後の方針性＞

◎成果の方針性

評価項目		事業数
拡充	今年度以上に成果を拡充する場合	24 事業
現状維持	今年度と同等の成果を維持する場合	86 事業
縮小	「費用対効果が低い」、「市が実施する必要性がない」等の理由で、事業を縮小する場合	0 事業
休廃止	「費用対効果が低い」、「市が実施する必要性がない」等の理由で、事業を休止又は廃止する場合	1 事業

◎コストの方針性

評価項目		事業数
拡大	予定よりもコストを拡大する場合	19 事業
現状維持	今年度と同等のコストを維持する場合	89 事業
縮小	①「費用対効果が低い」、「市が実施する必要性がない」等の理由で、事業を縮小する場合	2 事業
休廃止	上記①の理由等で、事業を休止又は廃止する場合	1 事業